

第3章 歯科口腔保健の推進に関する取組方針

1 基本理念別の現状と課題及び取組方針

基本理念 1

市民の生涯にわたる歯科健診の充実による歯科疾患の予防、早期発見・早期治療

● 札幌市が実施する歯科健診の現状と課題

市民の生涯にわたる歯科健診の実施体制については、乳幼児期については、母子保健法に基づく1歳6か月児健診と3歳児歯科健診に加えて5歳児（希望者）に対する歯科健診を実施しています。学齢期については、学校保健安全法に基づく就学前歯科健診と学校歯科健診が小学生、中学生、高校生を対象に実施されています。成人期については、健康増進法に基づく歯周病検診が40歳、50歳、60歳、70歳を対象に実施されており、75歳以上の後期高齢者に対しては、後期高齢者歯科健診と後期高齢者訪問歯科健診が実施されています。

主な課題としては、成人期において、歯周病の有病率が高いにもかかわらず、企業や事業所等での成人歯科健診の実施が一部の企業のみにとどまっている他、歯周病検診についても40歳まで受診機会がないことから、高校卒業後から40歳まで20年以上、歯科健診は個人の責任に委ねられている状況です。若い世代における歯科健診の習慣化を図るために歯科健診の機会の確保が課題となっています。また、歯周病検診については個別通知の実施により受診率が向上したものの、さらなる向上に向けた市民意識の向上も大きな課題です。

妊婦歯科健診については、妊娠期の歯と口腔の健康維持を図るために重要な取組ですが、受診率の向上に向けて、受診しやすい環境整備等の検討も課題となっています。

ライフステージごとの歯科健診（検診）実施状況

	6歳未満	6～18歳	19～39歳	40～74歳	75歳以上
歯科健診	乳幼児歯科健診	学校歯科健診		40、50、60、70歳歯周疾患検診	後期高齢者歯科健診 後期高齢者訪問歯科健診

① 乳幼児歯科健診（乳幼児期）

札幌市では、母子保健法に基づく1歳6か月児、3歳児に対する歯科健診に加え、希望する5歳児に対する歯科健診を実施しています。これらの歯科健診を引き続き実施し、むし歯や軟組織異常の早期発見・早期治療、ハイリスク児に対する歯科保健指導に取り組みます。

② 学校歯科健診（学齢期）

学校保健安全法に基づく児童生徒に対する学校歯科健診を着実に実施し、むし歯や歯肉炎等の早期発見、早期治療に繋ぎます。

③ 歯周病検診（成年期）

成人期の歯周病の早期発見及び重症化予防を図り、歯の喪失に至らないよう、現在、健康増進法に基づき40歳、50歳、60歳、70歳を対象に実施している歯周病検診を引き続き実施します。

受診率向上に向けて、対象者への個別通知に引き続き取り組む他、現在、国において国民皆歯科健診に関する検討が行われていることから、国の制度改革に応じて対応を検討します。

④ 歯科健診の受診勧奨（成年期）

札幌市では企業等での自主的な健康づくりを応援するために、働く世代への健康づくり事業を行っております。参加企業の従業員に対して、歯・口腔の健康づくりに関する情報提供を行うとともに働く世代を対象に歯科健診の受診勧奨等に取り組みます。

また、様々な健診の機会を通じた歯科健診の重要性の啓発により、対象者の自発的な受診に繋げていきます。

⑤ 妊婦歯科健診（成人期）

妊娠については、ホルモンバランスの変化に伴う歯肉炎の悪化（妊娠性歯肉炎）等の歯科疾患の増悪リスクがある他、近年、早産・低体重児出産との関連する可能性も報告されています。妊娠期の口腔管理は大変重要であるため、妊娠歯科健診を引き続き実施します。また、現在、国において国民皆歯科健診に関する検討が行われていることから、国の制度改革に応じて対応を検討します。

⑥ 後期高齢者歯科健診（高齢期）

高齢者については、むし歯や歯周病の疾患予防に加えて、口腔機能の維持・向上が重要です。このため、北海道後期高齢者医療広域連合からの委託事業と

して75歳以上の後期高齢者を対象とする歯科健診を引き続き実施します。また、受診率向上に向けて、対象者への個別通知に引き続き取り組む他、介護予防センターや老人クラブ等への周知啓発に努めます。

基本理念 1 具体的な取組と評価指標

対 象	具体的な取組		担当部
乳幼児期	乳幼児歯科健診 (1歳6か月児、3歳児、5歳児)	(継続)	保) ウエルネス推進部 区) 保健福祉部
学齢期	学校歯科健診	(継続)	教) 学校施設担当部
成人期	さっぽろ市歯周病検診	(継続)	保) ウエルネス推進部
	企業等における歯科健診の受診勧奨	(新規)	保) ウエルネス推進部
妊婦	妊婦歯科健診	(継続)	区) 保健福祉部 保) ウエルネス推進部
後期高齢者	後期高齢者歯科健診	(継続)	保) ウエルネス推進部
	後期高齢者訪問歯科健診		

	評価指標	現状値	目標値 (R14)
1	3歳児で4本以上のう蝕を有する人数	305人(R4)	0人
2	12歳児でう蝕のない者の割合	65.9% (R3)	95.0%
3	中学生・高校生における歯肉・歯周に異常がある者の割合	2.3% (R3)	減少
4	さっぽろ市歯周病検診の受診率	3.1% (R4)	5.0%
5	歯周病を有する人の割合(40歳・60歳)	40歳 53.4% 60歳 62.3%	40歳 25.0% 60歳 45.0%
6	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	64.0% (R4)	85.0%
7	妊婦歯科健診の受診率	5.8% (R4)	8.0%